

2020年 3月期 第3四半期 決算ハイライト

ティアック株式会社

<https://www.teac.co.jp/jp/>

証券コード6803

2020年2月7日

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2020年3月期 第3四半期決算 ハイライト

単位：百万円	前年同期	当第3四半期 (累計)	増減
売上収益	11,138	10,575	▲ 563
営業利益	133	▲ 44	▲ 177
親会社の所有者に帰属する四半期利益	▲ 335	▲ 214	+121
資本合計	671	989	+ 318
純資産比率	6.9%	9.8%	+ 2.9%

■ 売上収益

- 情報機器は増収となったものの、音響機器およびその他セグメントの減収により、全体として▲563百万円の減収

■ 営業利益

- 前年同期は介護記録システム事業の譲渡益+294百万円があったことにより、当第3四半期（累計）は▲177百万円減益となったが、売上総利益率改善、販売費・一般管理費の削減により一過性要因を除いた個別開示項目前営業利益では改善
- 第3四半期（10-12月）で+37百万円と黒字維持

■ 親会社の所有者に帰属する四半期利益

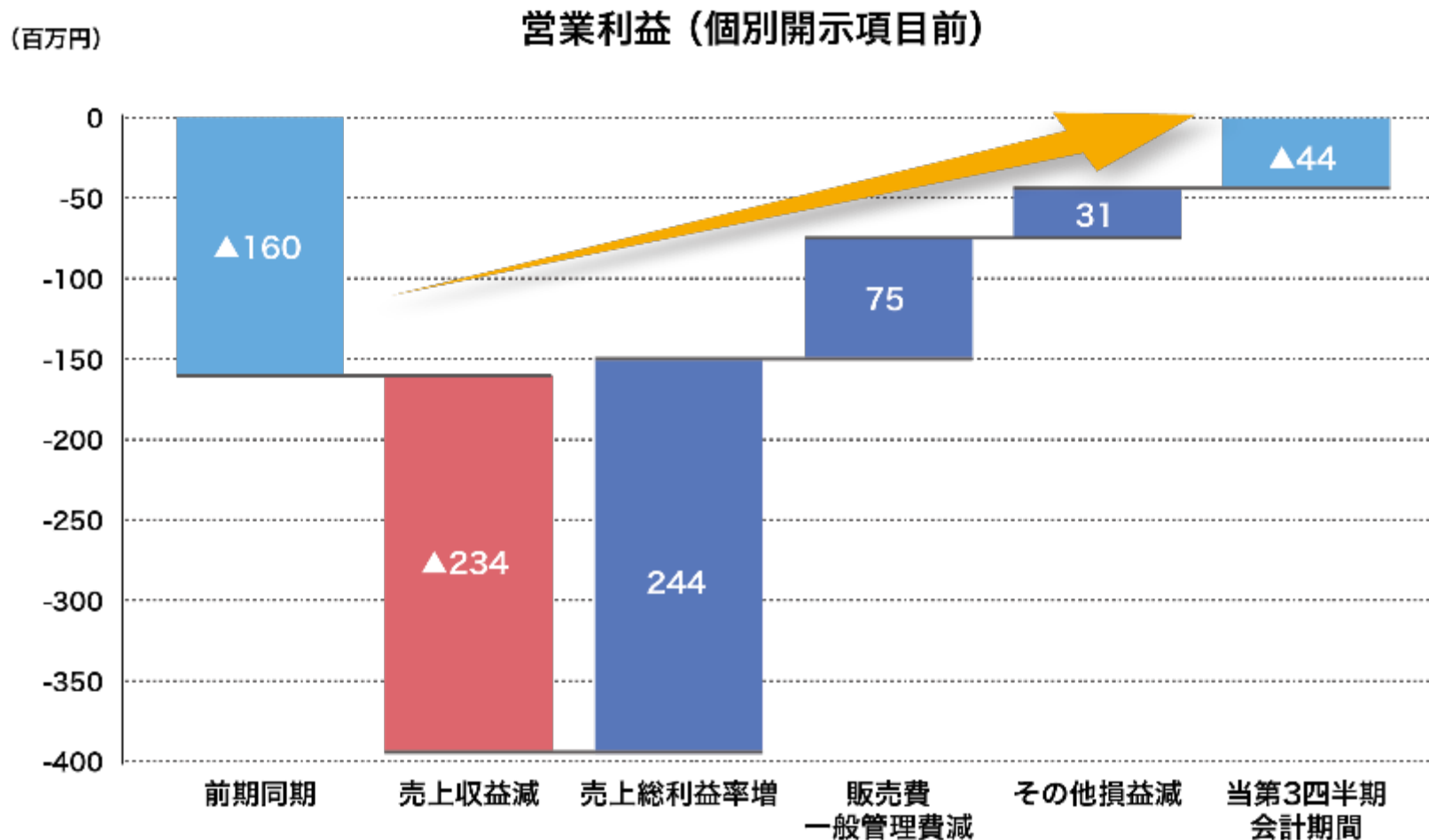
- 営業利益は減少したものの、金融費用等の減少により、親会社の所有者に帰属する四半期利益は+121百万円改善
- 第3四半期（10-12月）では営業利益減、金融費用の増加にて▲28百万円

■ 資本合計（純資産）

- 前年同期末に671百万円であった資本合計（純資産）は、当第3四半期末は989百万円と+318百万円増加し、純資産比率も9.8%と+2.9%改善

営業利益（個別開示項目前）

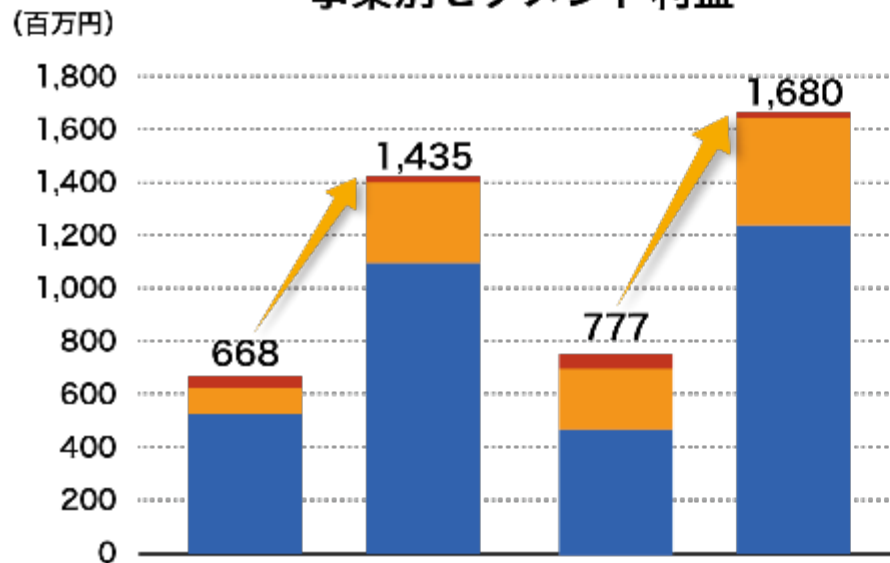
- 本業の業績を表す営業利益（個別開示項目前）は、音響機器事業は減収となったものの、売上総利益率の改善による全社での売上総利益増、販売費・一般管理費、その他損益の削減により前年同期比で改善



事業別セグメント営業利益・全社営業利益

- 音響機器：第3四半期（累計）で減収減益だが、引き続き新製品の投入、BtoB事業へのシフトにより、通期増益を見込む
- 情報機器：引き続き増収により第3四半期（累計）で増益、通期増収増益を見込む
- 全社営業利益は、前年同期は介護記録システム事業の譲渡益があったため当第3四半期（累計）で減益だが、本業からの営業利益は通期で増益を見込む

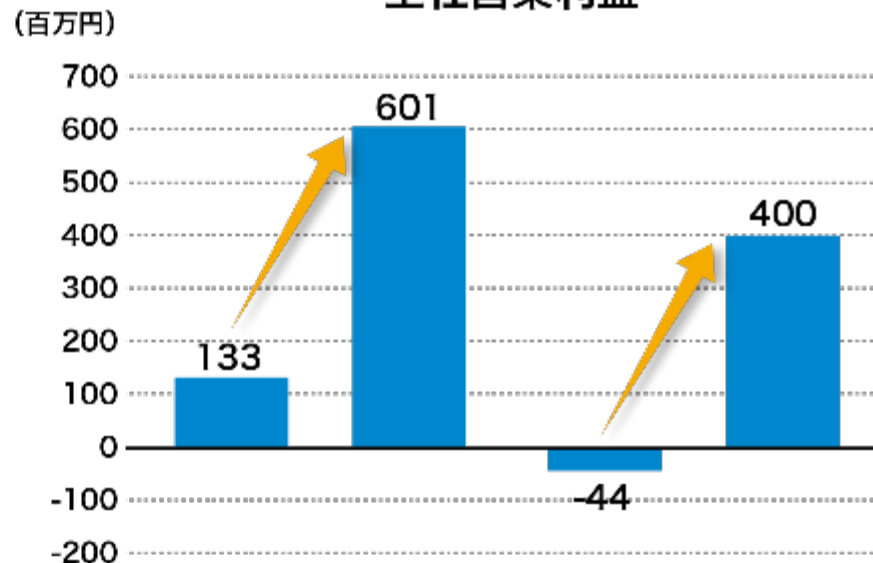
事業別セグメント利益



第3四半期	通期	第3四半期	通期(見込)
前期		当期	

■ 音響機器 ■ 情報機器 ■ その他

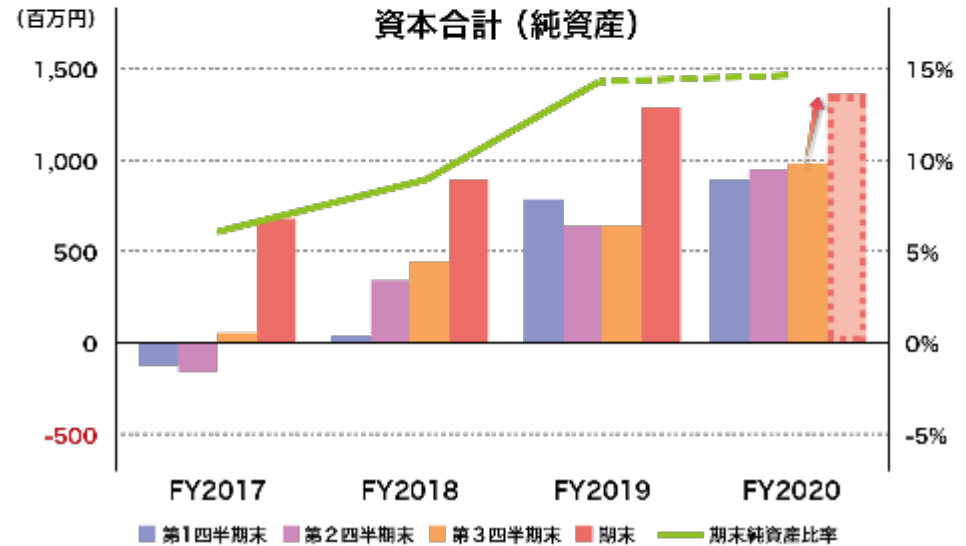
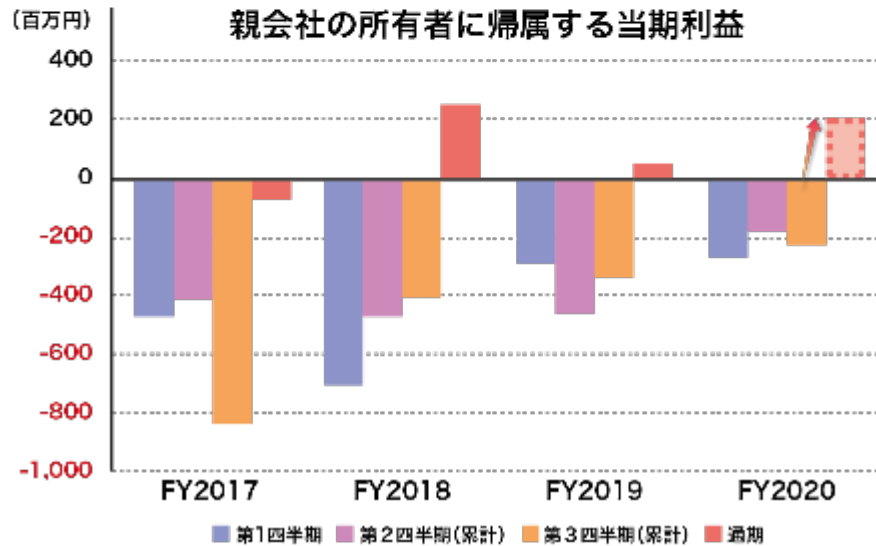
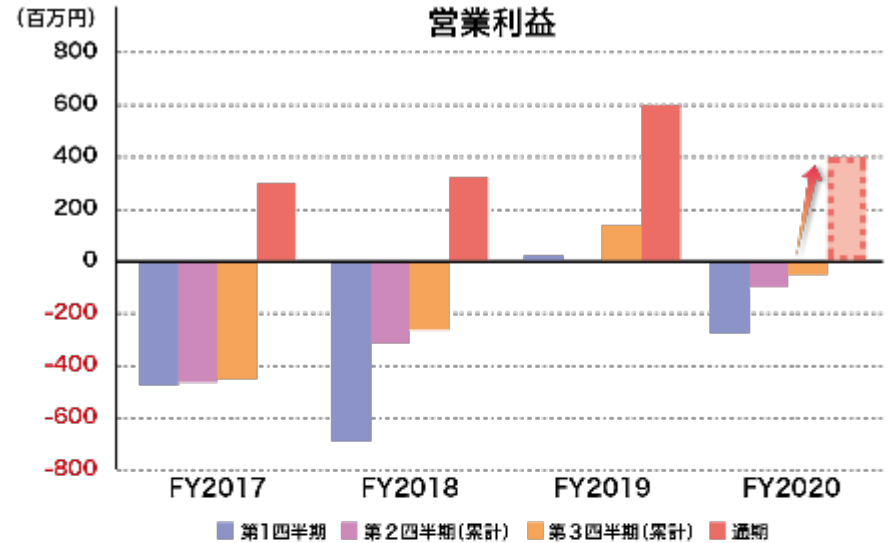
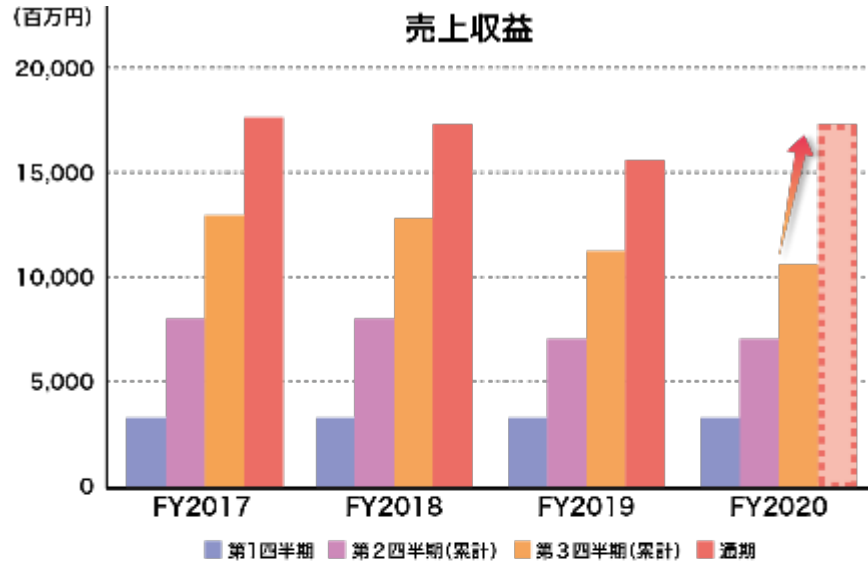
全社営業利益



第3四半期	通期	第3四半期	通期(見込)
前期		当期	

介護記録システム譲渡益
294百万円を含む

売上収益、営業利益、親会社の所有者に帰属する当期利益、資本合計推移



■ 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）

• BtoB製品

欧米設備市場での持続的成長へ、商品ラインナップに音響機器のみならず映像関連製品を加えることで、システムインテグレータ並びにエンドユーザーにワンストップソリューションを提供できるブランドを目指す。



Model 16 16トラック ライブ録音ミキサー



MZ-123BT 3ゾーンオーディオミキサー



AE-4D 4 AES/EBU入出力Danteコンバーター

- 会議室（企業）
- 文教（視聴覚教室・行動・体育館）
- アミューズメント施設・劇場
- ホテル・宴会場
- 店舗・商業施設
- 放送局・録音スタジオ



VS-R264 / VS-R265 ビデオストリーミング
エンコーダー/デコーダー



BD-MP1 ブルーレイ/マルチメディアプレイヤー

■ 音楽制作・業務用オーディオ機器（TASCAMブランド）

- BtoC製品

創造・制作・配信までのワークフローをカバーする商品ラインナップにより、アマチュアからプロフェッショナルまでユーザーの実現したいコトを高品質ながら簡単操作でアシストするブランドを目指す。



DR-40X
4トラックデジタルオーディオレコーダー/
USBオーディオインターフェース



DP-24SD
24トラック マルチトラック レコーダー



SERIES 208i
オーディオインターフェース

■ 高級オーディオ機器（ESOTERICブランド）、一般オーディオ機器（TEACブランド） - BtoC

事業規模は追求せず、国内外のオーディオファンをターゲットとした中高級機に特化した製品開発とマーケティング活動を継続することで、ブランド価値の向上と、一層の収益性改善を図る。

- 高級オーディオ機器
主力であるSACDプレーヤーを軸に、ネットワークプレーヤー、アンプ等の拡充を図り、アジア等の海外市場を拡大。

ESOTERIC



Grandioso K1X
スーパーオーディオ CD プレーヤー



N-01XD
ネットワーク オーディオ プレーヤー

- 一般オーディオ機器
付加価値の高い新製品の開発、独自のアナログ関連製品の充実によりブランド価値の向上と収益改善を目指す。

TEAC



AP-505
Referenceシリーズ ステレオパワーアンプ



TN-3B
フォノアンプ内蔵 アナログターンテーブル

■ 機内エンターテインメント機器 - BtoB

運用が開始されたポータブルビデオストリーミングサーバーを国内エアラインへ順次導入開始。また、海外エアラインへも、コンテンツプロバイダーとの戦略的協業のもとシェアを拡大。

PS-V50 ポータブルIFEサーバー



■ 医用画像記録再生機器 - BtoB

国内においては、好調な機器販売に加え、新規開発のウェブアプリを使った手術動画管理ソリューションの提案を進める。

海外では、好調な欧州・北米市場での更なる製品浸透に加え、アジアや南米市場での拡販を進める。

NEW



MV-1 内視鏡イメージレコーダー



UR-4MD メディカルビデオレコーダー

■ 計測機器 – BtoB

- データレコーダー
新たに導入した戦略製品で自動車市場を、現行品で重工、鉄道、防衛の3分野を、それぞれ開拓。



LX-1000 シリーズ
インテグレートドログガー



WX-1000 シリーズ
ワイドバンドデータレコーダー



VR-24
アナログビジュアルレコーダー

- センサー関連製品
戦略商品であるデジタル指示計で国内外の新規顧客を獲得し、更にネットワーク対応機種を導入することで新規市場を開拓。



TD-700T デジタル指示計



ロードセル